まちのニュースは、町内の主な出来事をお知らせするページです。

まちのニュース TOWN NEWS

2代目パオくんデビュー

町のマスコットキャラクター、ナウマン象の「パオくん」の着ぐるみがリニューアルしました。

従来のパオくんと比べ、小さなお子さんの目線に合わせて身長を低くし、顔つきもより可愛らしくなりました。

リニューアルしたパオくんは10月5日に行われた「まくべつ産業まつり」でデビューし、子どもたちの人気を集めました。今後も町内外のイベントや町内の行事に参加する予定ですので、見かけた時は気軽にお声をかけてください。

パオくんはリニューアルして約20㎝背が低くなりました

2つの町民見学会を開催！

9／24　なかとかち浄水場・幕別ダム
10／19　幕別町浄化センター・幕別消防署・ひだまり牧場・ふるさと館・蝦夷文化考古館

9月24日に施設見学等を通して見聞を深める町主催の「町民見学会」を開催し、町民40人が参加しました。なかとかち浄水場（中札内）と幕別ダム（日新）を見学し、参加された方から「生活に欠かせない水について深く理解することができた」「幕別にダムがあることを知らなかったので今回見学できてよかった」などの感想をいただきました。

10月19日には、幕別ロータリー会様より申し込みがあった「提案型町民見学会」を開催しました。

会員12名が参加し、幕別浄化センターの見学幕別消防署では救急車の見学や消火訓練などを体験。ふるさと館と蝦夷文化考古館では町の歴史に触れました。

9月24日に開催した町民見学会の様子。

10月19日に開催した提案型町民見学会の様子。

狩勝峠を描き続けて

９／26　教育委員会教育長室

狩勝峠からの眺望を描いた油彩画「十勝平野」が町在住の画家大戸秀夫（おおとひでお）さんから寄贈されました。大戸さんは「この景色を約40年間描き続けている。今後も町の美術振興に役立ちたい」と話してくれました。この絵は百年記念ホール「学習室１」のドア横に飾られています。

日本の文化に触れる

９／28～10／４　町内中学校他研修施設

９月28日から10月４日までの期間、「オーストラリア・メルローズハイスクール研修生受入事業」が行われ、生徒16人と引率教諭３人が�幕別町を訪れました。

研修生たちは、ホームステイ先の生徒が通う中学校に通い、茶道や剣道を体験するなど、日本の文化を楽しみました。

生前の功績をたたえて

９／29　役場３階町長室

平成26年７月４日に亡くなられた佐々木芳男（よしお）さんに、３期12年にわたる幕別町議会議員としての貢献など、生前のご活躍と多大な功績をたたえて、特別叙勲伝達式が行われました。岡田町長から勲章と賞状がご遺族の佐々木榮子（えいこ）さんと佐藤史（さとうふみ）さんに手渡されました。

祝幕別町開町118年

10／１　町民会館

幕別町開町記念式が開かれ、自治功労として杉坂達男（すぎさかたつお）さん、岡崎稔（おかざきみのる）さん、東口政秋（ひがしぐちまさあき）さん、社会功労として髙橋義明（たかはしよしあき）さん、斉藤剛（さいとうつよし）さんの５人が表彰されました。受賞者を代表して杉坂さんがあいさつを述べ、祝賀会では開町記念日を祝し、牛乳で乾杯を行いました。

満100歳おめでとう

10／10　弘和のご自宅

齋藤アキノさんが平成26年10月10日にめでたく満100歳を迎えられ、町からお祝いとして記念品の時計などが贈られました。

齋藤さんは現在４世帯のご家族と同居しており、体調の良い時は編み物や庭の草取りもされるなど、とてもお元気に暮らしています。

▲左から、飯田教育長、後援会員の三谷レイ子さん、帯広吹奏楽団員の脇坂幸恵さん

子どもたちへ本を…

10／16　教育委員会教育長室

10月４日に百年記念ホールで行われた帯広吹奏楽団によるチャリティコンサートで集められた募金３万７千円が寄附されました。団員を代表して飯田教育長に募金を手渡した脇坂幸恵（わきさかゆきえ）さんは「子どもたちのために１冊でも多く本を購入してもらえたら」と話してくれました。

churui NEWS

ハッピー・ハロウィン！

10／18　百年記念ホール講堂

図書館主催のハロウィンパーティーが開かれ、150人が参加しました。水に浮かんだリンゴを口で取るゲーム「アップルボビング」やくす玉人形を割るとお菓子が出てくる「ピニャータ」など、参加した子どもたちはハロウィンの伝統的なゲームを楽しみました。

地域で長寿を祝う

９／16　忠類コミュニティセンター

忠類地域公区長連絡協議会主催の忠類地域敬老会に73人の方が参加し、長寿を祝いました。来賓の方からの祝辞の後、ステージでは忠類保育所の園児によるお遊戯などが披露され、参加者は温かい目で園児たちを見守りながら楽しいひとときを過ごしました。

着物がドレスに大変身

9／28　忠類コミュニティセンター

今年で最後となった「忠類シニアファッションショー2014」が開催され、約500人が来場しました。「タンスに眠る着物に光と風を」をテーマに、着物をリメイクしたジャケットやドレスをまとったシニアモデルらがステージに登場すると、会場からは歓声と大きな拍手が送られました。

最後の交通安全呼びかけ

10／7　国道236号線沿駐車場

ボランティアグループ「五人会」の交通安全啓発キャンペーンが行われました。揚げいもや手づくりのフクロウの小物など100セットをドライバーに配布し、交通安全を呼びかけました。

今年で活動20年目を迎えた同会はメンバーの高齢化のため今回が最後の活動となりました。

歌やダンスで華やかに

10／8　忠類コミュニティセンター

しらかば大学ナウマン校の大学祭が開催され、生徒たちは手芸や写真の展示、カラオケやダンスを披露するなど日ごろの活動の成果を発表しました。民謡科の発表では、三味線の軽快な音色が響き、会場内は生徒たちの歌声と手拍子に包まれました。

新名物イベントが誕生！

10／13　忠類ナウマン温泉ホテルアルコ236

忠類ナウマン温泉ホテルアルコ236の開館20周年記念イベントの一環として「第１回全日本ナウマンぞうり卓球大会」が開催され、町内外から32人が出場しました。参加者はナウマン象のぬいぐるみを飾ったオリジナル草履（ぞうり）ラケットに四苦八苦しながらラリーを競い合っていました。